

「国語」・「数学」・「理科」の力と学習の様子

～『R4 全国学力・学習状況調査』結果から～

今年度は、国語、数学、理科の調査が行われました。どの教科にも、学校での授業の工夫や家庭での学習支援の効果が表れています。

🌸は良いところ ➡は伸ばしたいところ

☆国語について

学習指導要領の6内容 ※「話すこと・聞くこと」「書くこと」「読むこと」「言葉の特徴や使い方に関する事項」「情報の扱い方に関する事項」「我が国の言語文化に関する事項」における結果から

🌸「話すこと・聞くこと」「書くこと」「読むこと」「言葉の特徴や使い方に関する事項」「情報の扱い方に関する事項」「我が国の言語文化に関する事項」の全ての内容で全国平均を上回っています。



特に正答率の高かった問題

🌸知識及び技能に関する「言葉の特徴や使い方に関する事項」「我が国の言語文化に関する事項」の内容のほとんどの設問で、全国および県の平均を上回り、「助動詞の働きについて理解し、目的に応じて使う」問題、「文脈に即して漢字を正しく書く」問題、「事象や行為、心情を表す語句について理解する」問題、「漢字の行書の読みやすい書き方について理解する」問題、「漢字の行書とそれに調和した仮名の書き方を理解する」問題で正答率が高くなっています。

課題となった問題

- ➡「書くこと」「情報の扱い方に関する事項」において、「自分の考えが伝わる文章になるように、根拠を明確にして書く」問題で正答率が低くなっています。根拠となる情報を引用する際の「留意点」を踏まえて書くことが大切です。
- ➡「我が国の言語文化に関する事項」の内容の「行書の特徴を理解する」問題で正答率が低くなっています。行書を書く際に、その特徴を理解するとともに、楷書との比較などを行うことが大切です。

☆数学について

学習指導要領の4領域 ※「数と計算」「図形」「関数」「データの活用」における結果から

🌸「数と式」「図形」「関数」「データの活用」の全ての領域で、全国の平均を上回っています。

🌸特に「関数」の領域において、県の平均を上回っています。

特に正答率の高かった問題

- 🌸「数と式」領域の「文字に具体的な数をあてはめたとき、どのような計算を表しているかを書く」問題がよくできています。問題場面において事象の特徴を明確に捉える力が身についています。
- 🌸「図形」領域の「証明で用いられている三角形の合同条件を書く」問題がよくできています。証明の根拠として用いられている三角形の合同条件をよく理解しています。

課題となった問題

- ➡「数と式」領域の「自然数を素因数分解すること」に課題があります。自然数を素因数分解することを通して、整数に対する見方をさらに広げ、整数の性質について理解を深めることが大切です。
- ➡「データの活用」領域の「データの傾向を的確に捉え、判断の理由を数学的な表現を用いて説明すること」に課題があります。ヒストグラム等の資料を根拠に、多面的に吟味し、判断する活動を取り入れることが大切です。



☆理科について

学習指導要領の4領域 ※「エネルギー」「粒子」「生命」「地球」を柱とする領域における結果から

✿ 「エネルギー」「粒子」「生命」「地球」の全ての領域で、全国の平均を上回っています。

✿ 特に「エネルギー」「地球」の領域において、県の平均を上回っています。

特に正答率の高かった問題

✿ 「エネルギー」領域の「変える条件と変えない条件を適切に設定した実験操作の組合せを選択する」問題がよくできています。条件を制御した実験を計画する力が身についています。

✿ 「粒子」領域の「分子のモデルで表した図を基に、水素の燃焼を化学反応式で表す」問題がよくできています。化学変化に関する知識及び技能を活用することができています。

✿ 「生命」領域の「節足動物の足の違いについて、理由を説明する」問題がよくできています。生活場所や移動の仕方と関連付けて、体のつくりを分析する力が身についています。

課題となった問題

➡ 「粒子」領域の「液体が気体に状態変化することによって温度が下がる身近な現象を選択する」問題に課題があります。状態変化に関する知識と身近な現象を関連付けて探究する学習場面を繰り返し設定し、概念等を理解していくことが大切です。

